

地域密着型金融推進計画（平成22年度実績）

23年 5月19日
淡陽信用組合

1. 平成17年4月から23年3月までの地域密着型金融推進計画については、ほぼ計画どおり進めることが出来ました。
引き続きこれらの施策を着実に実行しつつ、中小零細事業者と個人に対する円滑な資金供給や経営相談・支援機能、情報提供機能などの付加価値の高いサービスを提供するとともに、地域金融に対して十分な役割と機能を果たせる金融機関をめざします。

2. 地域密着型金融推進計画に基づく個別項目の推進状況表

推 進 項 目	取組み方針・目標及び個別の具体的取組策 (担当部会)	推 進 ス ケ ジ ュ ー ル & 結 果	
		平 成 2 2 年 度 通 期 計 画	平 成 2 2 年 度 通 期 実 績
1. 事業再生・金融の円滑化	(事業再生・金融円滑化部会)		
(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 経営改善支援(ランクアップ)運動	<ul style="list-style-type: none"> 企業の財務内容を改善することで資金調達等の安定化を図るため、ランクアップ運動を推進する。 目標 20先 自己査定区分のA～C先からランクアップ対象先を抽出基準に基づき抽出し、対象先企業の問題点と改善策を本支店間、企業との間で共有し進捗管理を行いつつ取組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 22年度期初にランクアップ対象先として40先を抽出基準に基づき抽出する。 対象企業の問題点、改善策等について、本支店間で打ち合わせし管理表を作成し、取組方針を決定する。 3ヶ月毎に、管理表により進捗状況チェックし状況に応じた具体策等の打合せを行い成果に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ランクアップ予定先37先を選定(3先見直し減)し、改善策を本支店間で徹底。実績は5先ランクアップした。
創業・新事業支援	<ul style="list-style-type: none"> 地場産業が低迷する中、地域経済の活性化の為に新規開業や新分野への進出支援が重要。 創業・新事業新出への貸出 目標 20件 地区商工会や経営革新支援アドバイザーセンター(地域力連携拠点事業)等と連携しながら、情報収集と資金支援、経営相談に取組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 商工会、地域経営支援センター他への定期的な訪問を実施するほか、同センター、商工会等への会議にも積極的に参加する。 取組実績を全店に還元し、取組み意欲を向上させて行く。 渉外係、貸付係等の機動力を発揮し、地区内からの情報収集等を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 22年創業・新事業支援成果は10件120百万円融資実績があった。 商工会と連携し、地域資源活用事業4件・農商工等の連携事業1件融資実績があった。
(2) 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法 担保保証に過度に依存しない融資 目利き審査能力の向上 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 協同組織金融機関の特性を生かし、日常取引を通じた質の高い情報の蓄積等を基に取引先の実態把握による目利き審査が重要 流動資産担保による貸出 目標 10件 200百万円 日常のOJT研修の他、集合研修を実施し融資のできる人材強化に取組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 融資実務研修、年6回予定のほか外部研修の積極導入 各営業店の現場における店内研修の実施。 保証協会を活用した流動資産を担保とする貸出金への取組み。 	<ul style="list-style-type: none"> 融資実務研修、年6回奇数月(土曜日)に実施 8月部店長を対象に外部講師による研修を実施 11月金融円滑化マニュアルを制定 12月融資統括役席を対象に外部講師による研修を実施
(3) 地域の情報集積を活用した継続的な地域経済貢献 地域の面的再生 地域活性化に繋がる多様なサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> 雇用の創造につながる企業進出や不動産活用に対し役所、各種団体と連携し、情報収集と資金支援や経営支援に積極的に参画する。 地公体、商工会、各種業界団体等と連携し、情報交換等を通じ積極的に取組む。 ビジネスマッチング他、各地域での活性化等のニーズの情報収集に積極的に取組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 全営業店からの情報(ビジネスマッチング)や各種団体、地公体、各地域の商工会等からの情報を全店に還元し活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスマッチング 情報は13件あったが、実績は0件

推 進 項 目	取組み方針・目標及び個別の具体的取組策 (担当部会)	推 進 ス ケ ジ ュ ー ル & 結 果	
		平 成 2 2 年 度 通 期 計 画	平 成 2 2 年 度 通 期 実 績
2. 地域の利用者の利便性向上	(利便性向上部会)		
(1) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・「近い」「早い」「親切」をモットーに夢あるくらしのパートナーとして努力するとの当信用組合の理念を取り組み方針とする。 ・顧客からの相談・要望・情報に対し、より質の高いサービスを提供、利用者の利便性の向上を図り経営基盤の拡充を図る。 ・「ご相談窓口(営業店)」「お客様相談室(本部)」の連携を図り、本支店一体となってサービス提供に取り組む。 ・経営情報の提供として「デイリー経済情報」「年金世代の健康と暮らしの情報」「いきいきライフを応援する情報」の活用と「講演会」を開催する。 ・しんくみ生活総合センターの「ビジネスマッチング」「中小企業向け経営診断」等「あのねット」を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1～5回の利用者満足度アンケート調査の結果を踏まえ適宜改善を図る。 ・第6回利用者満足度アンケート調査検討・実施。 ・利用者の声の把握・検証。 ・「経済講演会」「CS・マナー研修会」実施。 ・融資渉外スキルアップ研修会実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客からの要望を受け、市支店の店外ATMの稼働時間を9:30分に繰上げ ・第6回利用者満足度アンケート調査項目の検討及び下期に調査実施決定23年1月17日に実施 ・経済講演会を実施(22年11月8日)
(2) 地域貢献に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に対して情報提供の充実を図り、より理解し易い情報開示と公表に取り組む。 ・地域に密着した信用組合の特性を発揮し地域社会の発展に貢献している内容等を情報開示し地域の理解を得ていく。 ・地域の中小零細事業者や生活者に対して円滑な資金供給と金融サービスを提供していくと共に地域サービスの充実や文化的、社会的貢献活動も含めた地域貢献活動について広報紙、ディスクロージャー誌、ミニディスクロージャー誌、ホームページ等を通して充実した分かりやすい情報開示に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙(淡陽ニュース)発行。 ・ディスクロージャー誌発行。 ・「献血運動」の実施。 ・「ピーターパンカード寄付金」贈呈。 ・地域貢献活動、情報開示について検証、見直し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌(淡陽ニュース)10回発行。 ・ディスクロージャー誌発行(22年7月28日) ・「献血運動」の実施(9月3日しんくみの日他) ・「ピーターパンカード寄付金」贈呈(22年9月7日赤穂精華園) ・ミニディスクロージャー誌発行(22年11月22日) ・「地域密着型金融」の推進計画及び進捗状況をホームページで公表(21年5月21日) ・第6回利用者満足度アンケート結果をホームページで公表(23年3月31日)